

認知症 SOS 声かけ訓練

概 要	夏まつりの会場でどこシル伝言板のシールを張った認知症役の方に声掛け、どこシル伝言板の読み取り体験をしてもらう。	
目 的	地域で見守り、支え合い、安心して暮らせるまちづくり	
開催にあたっての経緯	稲毛いきいきプラザにて、夏まつりが行われるにあたり、認知症の啓発依頼があり、声掛け訓練を実施することになった。	
実 行 メ ン バ ー	あんしんケアセンター稲毛、稲毛区生活支援コーディネーター、中央介護福祉専門学校	
実 施 場 所	稲毛いきいきプラザ内	
開 催 日 時	令和4年8月27日（土）10：00～12：00（夏祭りは終日開催）	
参 加 者 数	86 名	（内訳） 子供 40名 大人 46名

開催までの流れ		
7月中旬	訓練協力依頼	稲毛区生活支援コーディネーター、居宅介護支援事業所のケアマネジャー、中央介護福祉専門学校、認知症サポーターステップアップ講座終了者
8月上旬	市へベスト・どこシル伝言板借用依頼	
〃	社会福祉協議会へのぼり借用依頼	

必要物品及び入手先
<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ訓練のぼり：社会福祉協議会より借りる ・ベスト：千葉市地域包括ケア推進課より借りる ・どこシル伝言板：千葉市地域包括ケア推進課より借りる

開催当日の流れ		
9：10	会場準備	
9：40	スタッフへ説明	各役割に分かれ、説明を行う
10：00	訓練開始	
12：00	訓練終了	

開催風景



受付。訓練の説明。スタンプカード渡す。



館内にいる認知症役（５名）を発見し、声かけを行う。



どこシル伝言板のQRコード読み取り



声かけ終了後、スタンプをもらう

課題・反省

- ・稲毛いきいきプラザ夏まつり内で行っているため、集客はしやすかった。
- ・地域のお祭りと重なってしまったため、自治会や民生委員の協力を得ることができなかった。